

## 欧州はプラスチックの循環利用へ規制を強化

### ◆プラスチック戦略を発表し、プラスチック廃棄物の過半をリサイクルする

2018年1月、欧州委員会は「循環型経済（Circular Economy）における欧州プラスチック戦略」を発表した。15年12月に発表された「循環型経済パッケージ（CEP）」で廃棄物のリサイクルなど資源効率の向上が謳われており、今回は「CEP」で優先5分野（注）と位置付けられたプラスチックに特化した戦略である。

「CEP」では30年までに、生活廃棄物のリサイクル率を65%、容器包装廃棄物については75%とする目標が掲げられていた。「戦略」では30年までに、すべてのプラスチック製容器包装はリユース（再利用）可能か、リサイクルされるものとし、プラスチック廃棄物の過半はリサイクルするとした。

（注）優先5分野：プラスチック、食品廃棄物、希少原料、建築・解体、バイオマス・生物由来資源。

EUと日本のプラスチック廃棄物の内訳と処理方法 （単位：%）

EU PLASTIC WASTE GENERATION IN 2015 2580万t		日本 廃プラ総排出量（2016） 899万t	
Packaging	59	包装・容器等／コンテナ類	45.3
Electrical and Electronic Equipment	8	電気・電子機器／電線・ケーブル等	20.2
Construction and Demolition	5	建材	7.0
Non Packaging Household	4	家庭用品／衣類履物／家具／玩具等	6.7
Automotive	5	輸送	4.4
Agriculture	5	農林水産	1.2
Others	14	その他／生産・加工ロス	15.1
処理方法			
Recycling（リサイクル）	less than 30	マテリアルリサイクル	23
		ケミカルリサイクル	4
		サーマルリサイクル（エネルギー回収）	57
Incineration（焼却）	39	単純焼却	9
Landfilling（埋立）	31	埋立	7

（資料）EUROPEAN COMMISSION「A European Strategy for Plastics in a Circular Economy」（2018.1.16）  
プラスチック循環利用協会「プラスチック製品の生産・廃棄・再資源化・処理処分の状況」（2017.12）

### ◆設計からリサイクルしやすくし、再生プラスチックの需要拡大を見込む

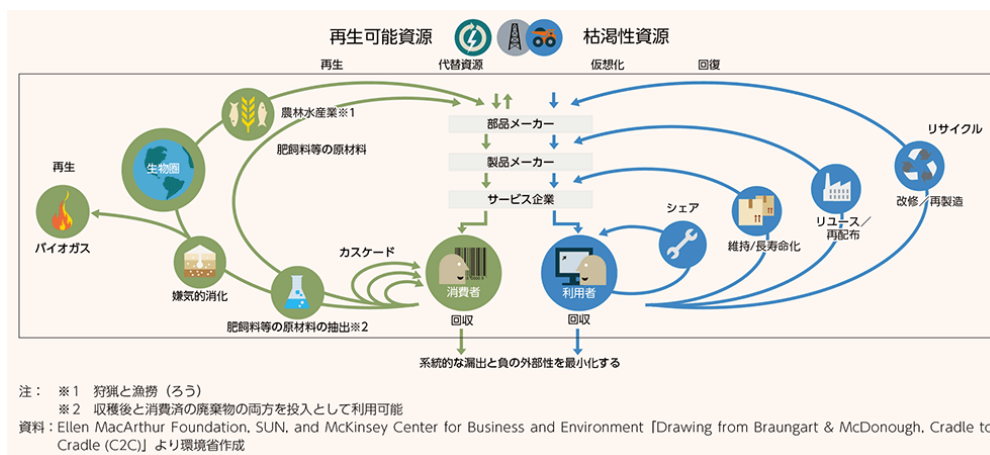
現在、EU域内のプラスチック廃棄物は、7割が埋立や焼却処理されており、リサイクル率は30%に満たない。高く掲げたリサイクル率の目標に向けて、「戦略」では、リサイクルの段階だけでなく、製品の設計・生産・使用・再生利用など、サプライチェーン全体での方向転換が必要としている。

## ハイライト

設計段階から、製品の耐久性を高めるとともに、分解しやすく、修理しやすいリユース・リサイクル容易な設計とする必要がある。特に容器包装は重点とされ使い捨てではなく、リユース・リサイクルできる製品が求められるようになる。また、プラスチックのリサイクルにあたっては、もとのプラスチック製品に有害リスク物質などが含まれていないか、含有物質情報を把握する必要性が指摘されている。リサイクルされ再生プラスチックとなる原料の品質も課題となる。

こうした課題を乗り越え「戦略」では再生プラスチックの需要を4倍拡大し、25年までに再生プラスチック1,000万トンを普及させる計画である。今後、設計や品質などに関する指令や基準など、具体的な議論が展開されることになる。

EUが提案する循環型経済（Circular Economy）のイメージ



(資料) 環境省「平成28年版 環境・循環型社会・生物多様性白書」

<https://www.env.go.jp/policy/hakusyo/h28/html/hj1601030301.html>

### ◆有力企業がプラスチック容器包装の不使用、再生プラスチック化を宣言

企業側の対応も相次いでいる。プラスチック分野の循環型経済を推進する「New Plastic Economy」に参加するユニリーバやコカ・コーラ、ロレアルなど11社は18年1月、25年までにすべての容器包装をリユース、リサイクル、堆肥化（コンポスト）可能な素材に変えると発表した。英国冷凍食品大手アイスランドも23年までにプラスチック容器包装の使用をやめると発表した。P&Gは18年末までにシャンプーボトルの最大25%に再生プラスチックを使用するとしている。

「戦略」ではマイクロプラスチック問題に関連して、タイヤや繊維由来マイクロファイバーにも言及しており、企業への影響は拡大しそうだ。【長谷川雅史】